



株式会社DDホールディングス

2021年2月期 第1四半期
補足説明資料

2020年7月15日
(証券コード：3073)

連結業績トピックス



株式会社ダイヤモンドダイニング
【わらき屋 九段下】

1

新型コロナウイルス感染症の影響を受け赤字転落

→売上高45億円（同四半期累計期間比31.8%減） 営業利益▲42.7億円（同四半期8.4億円）

2

経営合理化等を含む経営方針を決議

→財務体質強化と、中長期的な成長に向けた収益力強化を重視した、企業価値最大化へ

コーポレートトピックス①

同四半期累計期間対比：赤字の計上

四半期業績推移

四半期売上高

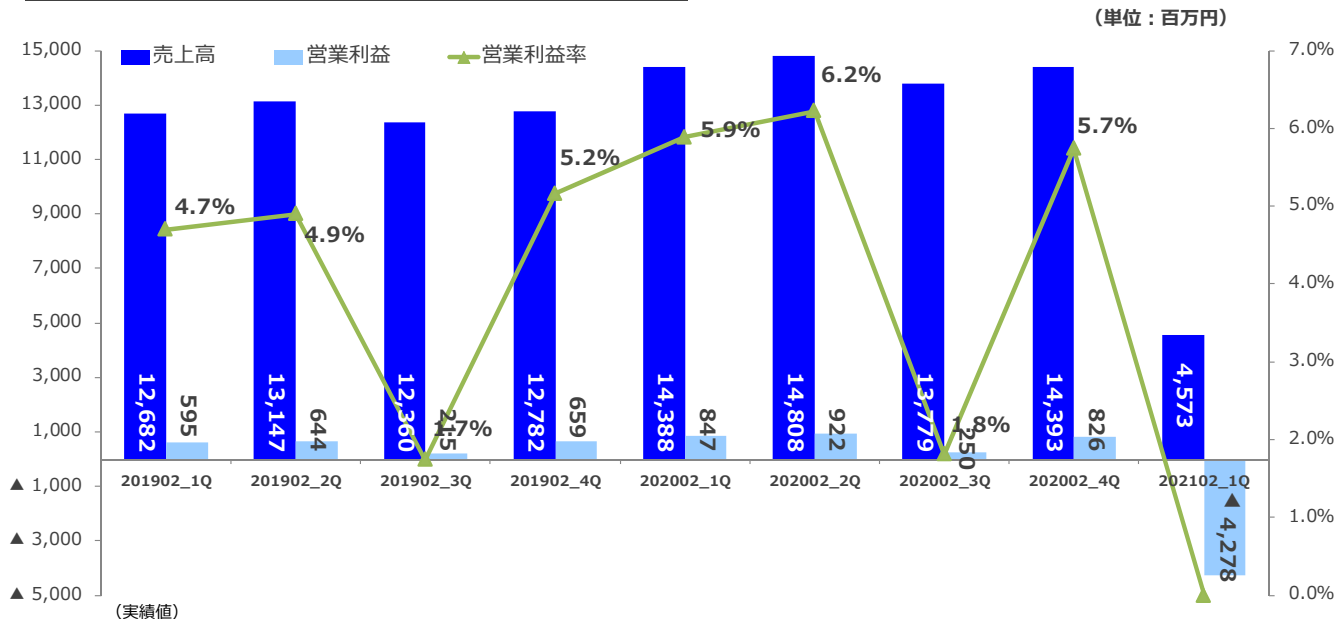
45億円

(YoY 31.8%減)

四半期営業損失

▲42.7億円

四半期累計期間において各段階利益「赤字」を計上



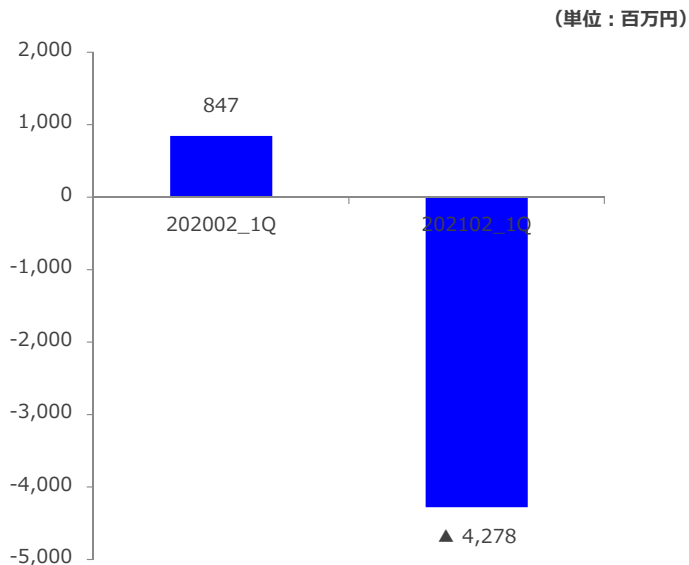
	2019年2月期				2020年2月期				2021年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	3Q	1Q
売上高	12,682	13,147	12,360	12,782	14,388	14,808	13,779	14,393	4,573
営業利益	595	644	215	659	847	922	250	826	▲4,278
営業利益率	4.7%	4.9%	1.7%	5.2%	5.9%	6.2%	1.8%	5.7%	-

コーポレートトピックス①

緊急事態宣言下における固定費の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、緊急事態宣言の発令により営業自粛及び営業時間の短縮を実施した事による主要固定費額は2,445百万円（ご参考）

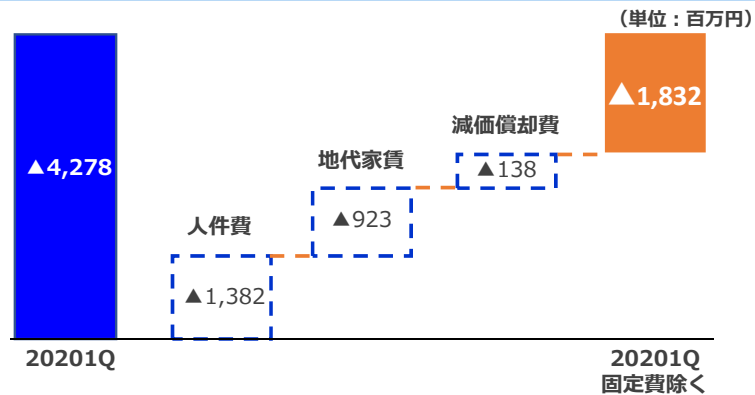
前年同四半期比較 営業利益



緊急事態宣言下の休業期間影響額（主要固定費額）

【算出前提条件】

- ①緊急事態宣言期間中の休業及び営業時間短縮の期間（店舗毎）
※商業施設においては、施設側休業要請期間を追加
- ②店舗毎の当該休業期間（4月:22日間, 5月:25日間）より算出



コーポレートトピックス②

経営合理化を含む今後の経営方針

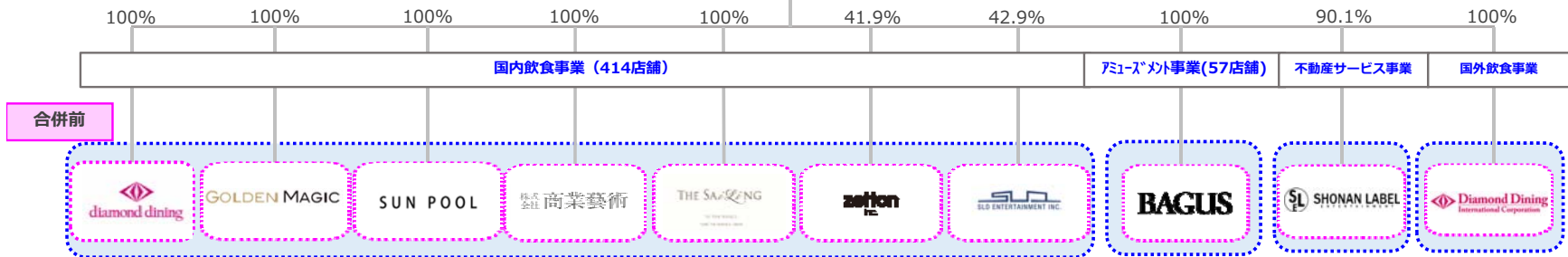


経営合理化項目	施策内容	スケジュール	方針
1 グループ会社の 見直し	当社連結子会社である(株)ダイヤモンドダイニングを合併存続会社として、(株)ゴールデンマジック、(株)サンプル、(株)商業藝術、(株)The Sailingを合併消滅会社とする吸収合併を実施。 (吸収合併効力発生日：2020年9月1日)	2020年9月1日	財務体質の強化及び中期的な収益強化を重視
2 固定費等を含めた 一般管理費等の削減	固定費圧縮及び財務体質の健全化を図るため、本社の縮小や業務上必要な機器・サービスなどに関し徹底的な見直しを行い、大幅な一般管理費削減を図る。	2021年2月 期中	
3 不採算店舗の退店	今来期（2021年2月期～2022年2月期）において、グループ全店舗の1割強に相当する店舗の退店方針を決議。 「新しい生活様式」の定着を鑑み、当該生活様式に対応できず業績悪化店舗については、追加退店決議の可能性有。	2021年2月期 ～ 2022年2月期	
4 人員の適正配置	事業子会社や収益部門への再配置等によるグループの人的資源の効率化を図るとともに、本社部門及び営業間接部門において、リモートワーク等の新しい働き方を推進し、生産性向上及び人件費削減と抑制を図る。	2021年2月期 ～	

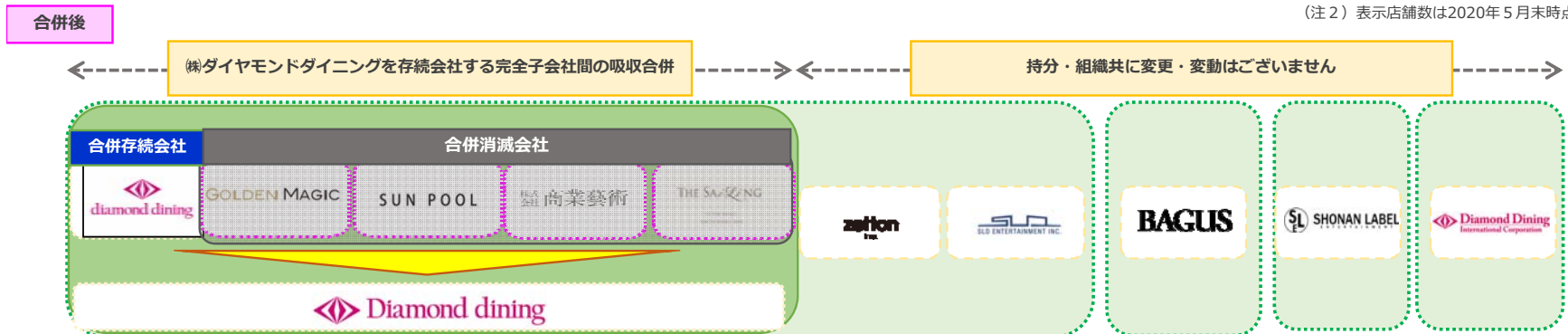
経営合理化を含む今後の経営方針

コーポレートトピックス②

経営合理化を含む今後の経営方針



(注1) 比率は当社の持株比率
 (注2) 表示店舗数は2020年5月末時点



経営・財務の安定性強化

賃貸オーナー様と良好な関係を維持し、
賃料減額交渉を継続

手許流動性を厚く保持することを
目的として70億円の資金枠を設定

賃料以外の一般管理費においても
契約内容の見直しを継続

お客様の安全性確保強化

従業員の健康チェックによる管理
店内消毒の徹底等を継続

感染防止への取組を掲示し
ソーシャルディスタンス対応を継続



連結業績



株式会社バグース
【KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU】（東京）

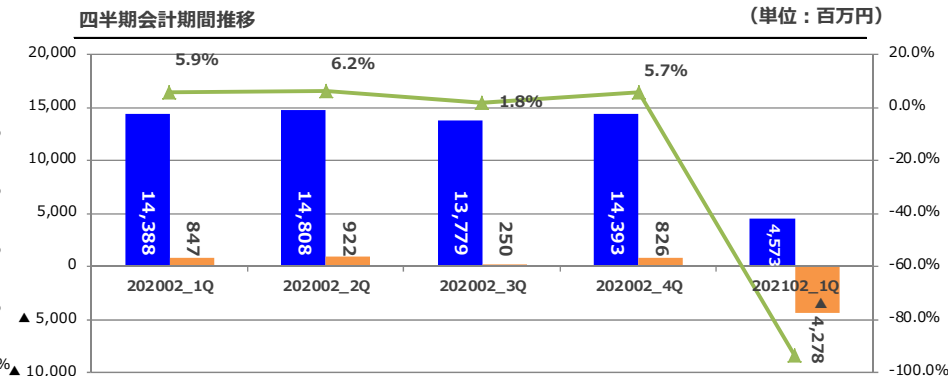
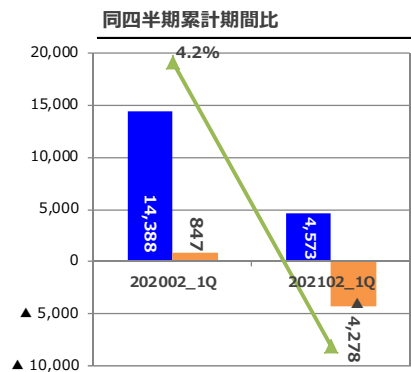
四半期業績概要（累計期間）



（単位：百万円）

科目名	2020年2月期	2021年2月期	増減額	増減率	コメント
	1Q（累計）	1Q（累計）			
売上高	14,388	4,573	▲ 9,815	▲68.2%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、4月中旬からの営業自粛及び営業時間の短縮等の影響により▲68.2%の減少
売上原価	3,407 23.7%	1,164 25.5%	▲ 2,243	▲65.8% 1.8point	緊急事態宣言の発令による営業自粛等の影響があり、食材・飲材等のロスが発生致しましたが、+1.8pointに抑制
売上総利益	10,980 76.3%	3,408 74.5%	▲ 7,571	▲69.0% ▲1.8point	
販売費及び 一般管理費	10,133 70.4%	7,687 168.1%	▲ 2,445	▲24.1% 97.7point	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う営業自粛等の影響を受け、人件費40.3point,地代家賃28.8point,減価償却費5.0pointそれぞれ増加しております。
営業利益（損失）	847 5.9%	▲ 4,278 -	▲ 5,125	- -	
経常利益（損失）	845 5.9%	▲ 4,300 -	▲ 5,145	- -	
親会社株主に帰属する 当期純利益（損失）	578 4.0%	▲ 2,603 -	▲ 3,182	- -	減損損失：87百万円（前年同四半期45百万円）計上 法人税等：▲1,259百万円（前年同四半期214百万円）計上

四半期業績概要（主要段階利益）



	2020年2月期	2021年2月期
	1Q (累計)	1Q (累計)
売上高	14,388	4,573
売上原価	3,407	1,164
売上総利益	10,980	3,408
販売費及び一般管理費	10,133	7,687
営業利益 (損失)	847	▲ 4,278
経常利益 (損失)	845	▲ 4,300
親会社に帰属する当期 (四半期) 純利益 (損失)	578	▲ 2,603
EBITDA	1,234	▲ 3,841
(ご参考) のれん控除前営業利益 (損失)	901	▲ 4,212

	2020年2月期				2020年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	14,388	14,808	13,779	14,393	4,573
売上原価	3,407	3,482	3,343	3,375	1,164
売上総利益	10,980	11,326	10,436	11,017	3,408
販売費及び一般管理費	10,133	10,403	10,186	10,190	7,687
営業利益 (損失)	847	922	250	826	▲ 4,278
経常利益 (損失)	845	946	294	829	▲ 4,300
親会社に帰属する当期 (四半期) 純利益 (損失)	578	351	142	369	▲ 2,603
EBITDA	1,234	1,325	663	1,279	▲ 3,841
(ご参考) のれん控除前営業利益 (損失)	901	974	300	875	▲ 4,212

四半期業績概要（セグメント別）



四半期累計期間

	四半期累計期間		
	2020年2月期 1Q（累計）	2021年2月期 1Q（累計）	
飲食	売上高	11,907	3,598
	営業利益（損失）	745	▲ 3,218
	営業利益率	6.3%	—
アミューズメント	売上高	2,481	761
	営業利益（損失）	538	▲ 699
	営業利益率	21.7%	—
不動産サービス	売上高	—	213
	営業利益（損失）	—	▲ 45
	営業利益率	—	—
全社	売上高	14,388	4,573
	営業利益（損失）	847	▲ 4,233
	営業利益率	5.9%	—

※「不動産サービス」については、2021年2月期1QよりP/Lの連結が発生しております。

同四半期_四半期実績（2021年2月期1Q）対比

四半期会計期間

（単位：百万円）

	2020年2月期				2021年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
飲食	11,907	12,288	11,412	11,899	3,598
	745	875	316	813	▲ 3,218
	6.3%	7.1%	2.8%	6.8%	—
アミューズメント	2,481	2,519	2,367	2,493	761
	538	536	373	499	▲ 699
	21.7%	21.3%	15.8%	20.0%	—
不動産サービス	—	—	—	—	213
	—	—	—	—	▲ 45
	—	—	—	—	—
全社	14,388	14,808	13,779	14,393	4,573
	847	922	250	826	▲ 4,233
	5.9%	6.2%	1.8%	5.7%	—

【全セグメント】

新型コロナウイルス感染症の拡大（以下「コロナウイルス拡大」という）に伴う、期初からの客数の減少傾向となり、緊急事態宣言が2020年4月7日に発令以降、政府及び各自治体の要請に従い営業自粛等を実施した結果、売上高は飲食セグメント▲69.8%、アミューズメントセグメント▲69.3%それぞれ大幅に減少する結果となりました。

緊急事態宣言の解除を受け、一部店舗においては、政府及び各自治体の要請の範囲内で営業の再開を予定しておりますが、コロナウイルス拡大を助長しないよう、「3密」等の感染予防対策を徹底し、お客様に安心してご利用いただけますよう努めております。

加えて、店内飲食がメインであった当社運営店舗においても、一部の店舗においては、時短営業、お弁当販売、テイクアウト及びデリバリー の対応を開始いたしました。

不動産サービスセグメントにおいては、2020年2月期決算よりセグメントを追加しておりますので、前期までの業績はございません。

ホテル運営事業は、飲食・アミューズメントセグメント同様にコロナウイルス拡大の影響を受け予約数が減少したものの、コンテナ事業は安定した収益となり最小限の損失となりました。

主要係数



四半期累計期間

	2020年2月期	2021年2月期
	1Q (累計)	1Q (累計)
売上原価率	23.7%	25.5%
販管費率	70.4%	168.1%
営業利益率	5.9%	(赤字)
(ご参考) のれん償却控除前営業利益率	6.3%	(赤字)
経常利益率	5.9%	(赤字)
EBITDA	1,234	▲ 3,841

四半期累計期間

	2020年2月期	2021年2月期
	1Q (累計)	1Q (累計)
有利子負債額	14,133	25,330
ネットD/ELレシオ	1.1	4.4
自己資本比率	21.0%	11.7%

四半期会計期間

(単位: 百万円)

	2020年2月期				2021年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上原価率	23.7%	23.5%	24.3%	23.5%	25.5%
販管費率	70.4%	70.3%	73.9%	70.8%	168.1%
営業利益率	5.9%	6.2%	1.8%	5.7%	(赤字)
(ご参考) のれん償却控除前営業利益率	6.3%	6.6%	2.2%	6.1%	(赤字)
経常利益率	5.9%	6.4%	2.1%	5.8%	(赤字)
EBITDA	1,234	1,325	663	1,279	▲ 3,841

四半期会計期間

(単位: 百万円)

	2020年2月期				2021年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
有利子負債額	14,133	13,831	13,483	21,304	25,330
ネットD/ELレシオ	1.1	0.9	1.0	1.9	4.4
自己資本比率	21.0%	21.8%	22.6%	18.2%	11.7%

- 【売上原価率】 緊急事態宣言の発令による営業自粛等の影響があり、食材・飲材等のロスが発生致しましたが、+1.8pointに抑制
- 【経常利益率】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う営業自粛等の影響を受け、人件費40.3point, 地代家賃28.8point, 減価償却費5.0pointそれぞれ増加しております。
- 【有利子負債比率】 2020年2月期において、湘南レーベル株式会社、他2社のM&Aを行ったことによる増加に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業収支が大幅に減少したことに伴う運転資金の借入等による増加

(単位：千円)

	2020年2月期 期末	2021年2月期 1Q	前期比増減		2020年2月期 期末	2021年2月期 1Q	前期比増減
流動資産	11,618,121	8,649,819	▲ 2,968,302	有利子負債	21,304,656	25,330,891	4,026,234
現金及び預金	7,915,783	6,232,991	▲ 1,682,791	その他負債	8,742,035	6,399,611	▲ 2,342,423
その他流動資産	3,702,338	2,416,827	▲ 1,285,511	負債合計	30,046,691	31,730,503	1,683,811
固定資産	26,798,738	28,335,041	1,536,303	株主資本	6,868,878	4,195,167	▲ 2,673,710
有形固定資産	14,411,229	14,894,651	483,421	利益剰余金	5,573,970	2,900,295	▲ 2,673,674
無形固定資産	4,707,092	4,634,099	▲ 72,993	その他の包括利益累計額	135,776	137,732	1,955
のれん	4,526,716	4,461,042	▲ 65,673	新株予約権	2,771	2,771	0
投資その他の資産	7,680,415	8,806,289	1,125,874	非支配株主持分	1,525,751	1,065,394	▲ 460,356
繰延資産	163,009	146,708	▲ 16,300	純資産合計	8,533,177	5,401,066	▲ 3,132,111
資産合計	38,579,869	37,131,569	▲ 1,448,300	負債・純資産合計	38,579,869	37,131,569	▲ 1,448,300

【増減主要要因】

(資産) 前連結会計年度末に比べ1,448,300千円減少し、37,131,569千円となりました。主要要因といたしましては、繰延税金資産が1,256,931千円増加したものの、現金及び預金、売掛金、預け金が、それぞれ1,682,791千円、741,435千円、380,892千円減少したこと等によるものであります。

(負債) 前連結会計年度末に比べ1,683,811千円増加し、31,730,503千円となりました。主要要因といたしましては、買掛金、未払費用、未払法人税等がそれぞれ1,214,452千円、687,924千円、189,682千円減少したものの、短期借入金、長期借入金がそれぞれ3,288,478千円、588,198千円増加したこと等によるものであります。

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界各国における拡大状況及び当社グループの国内外における店舗の営業状況等を踏まえ、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため未定としております。

今後、当社グループ各社の状況確認が進み、2021年2月期の連結業績予想について適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、後日速やかに開示をいたします。

国内全店同年同月比_推移

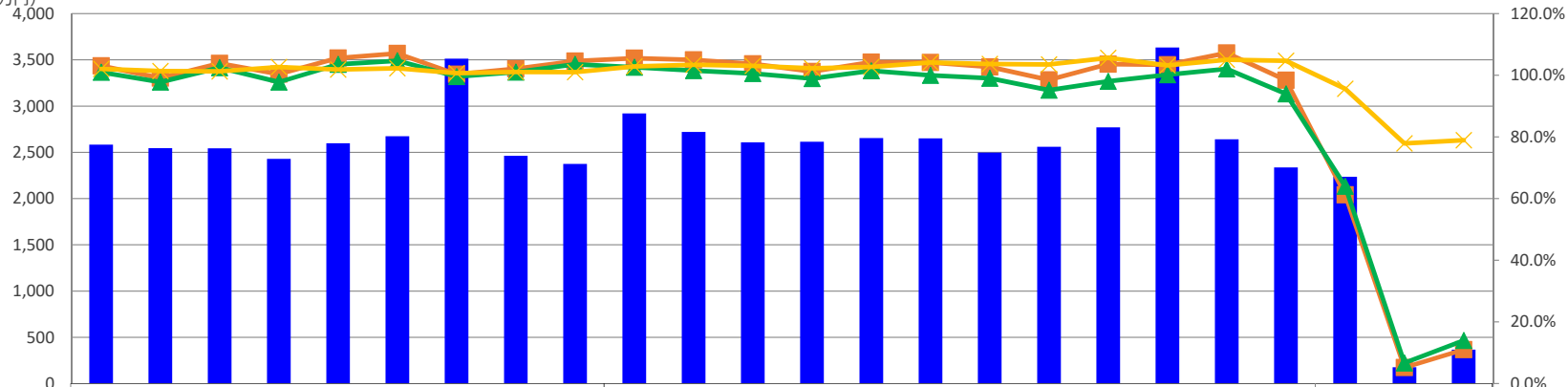


株式会社ゴールデンマジック
【九州熱中屋 上野LIVE】(東京)

国内全店 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2019年2月期						2020年2月期						2021年2月期											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 売上高	2,583	2,546	2,545	2,431	2,600	2,675	3,514	2,463	2,376	2,921	2,721	2,609	2,615	2,655	2,651	2,497	2,562	2,771	3,635	2,641	2,338	2,237	178	367
■ 売上高	103.1%	99.1%	103.9%	100.4%	105.6%	107.1%	100.4%	102.2%	104.6%	105.6%	105.0%	103.7%	101.2%	104.3%	104.2%	102.7%	98.5%	103.6%	103.4%	107.2%	98.4%	61.2%	5.2%	11.0%
■ 客数	101.0%	97.8%	102.5%	97.8%	103.6%	104.7%	99.6%	101.0%	103.6%	102.6%	101.5%	100.6%	99.0%	101.5%	100.0%	99.1%	95.2%	98.1%	100.2%	102.1%	94.0%	64.0%	6.7%	14.0%
■ 客単価	102.1%	101.4%	101.3%	102.7%	101.9%	102.3%	100.7%	101.1%	101.0%	102.9%	103.4%	103.1%	102.3%	102.7%	104.2%	103.7%	103.5%	105.6%	103.3%	105.0%	104.7%	95.6%	77.9%	79.0%

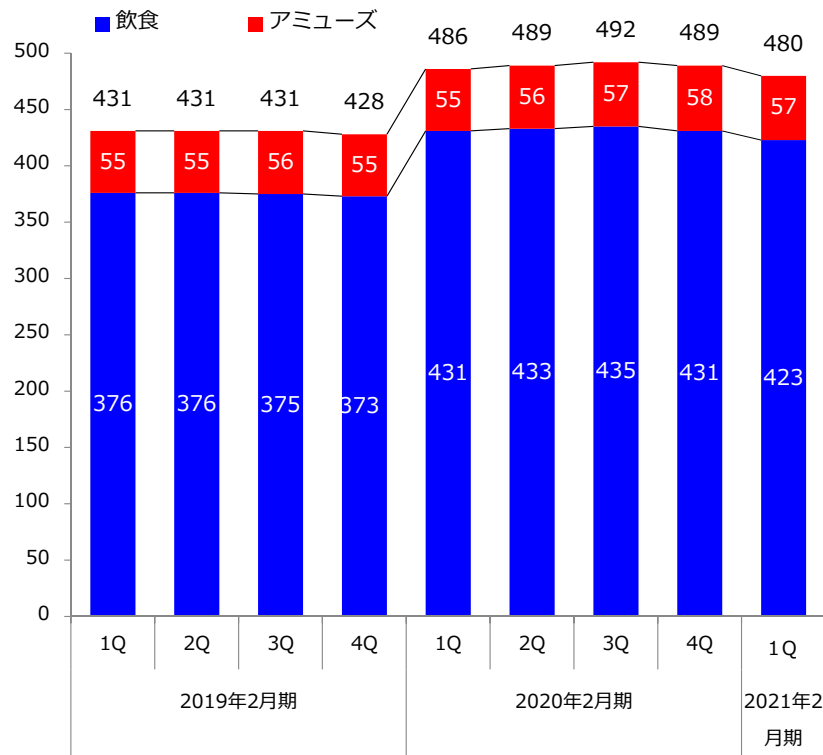
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	101.9%	104.4%	102.1%	104.8%	103.2%	101.6%	103.1%	25.1%
客数	100.3%	102.0%	101.2%	101.6%	100.1%	97.4%	98.9%	26.5%
客単価	101.6%	102.4%	100.9%	103.1%	103.1%	104.3%	104.2%	94.9%

新規出店の状況



株式会社ゼットン
【orangé】（東京）

店舗数推移



- ✓ 新規出店：3店舗（国内3店舗、海外0店舗）
- ✓ 退店店舗：12店舗

【店舗数推移】

	1Q	2Q	中間期合計	3Q	4Q	通期合計
①新規出店	3		3			3
②業態変更	1		1			1
③退店	12		12			12
④純増店舗数 (①-③)	480		480			480

※注 上記直営店舗の他、LC5店舗、FC6店舗、運営受託店舗8店舗を運営しております。

国内・外出店エリア

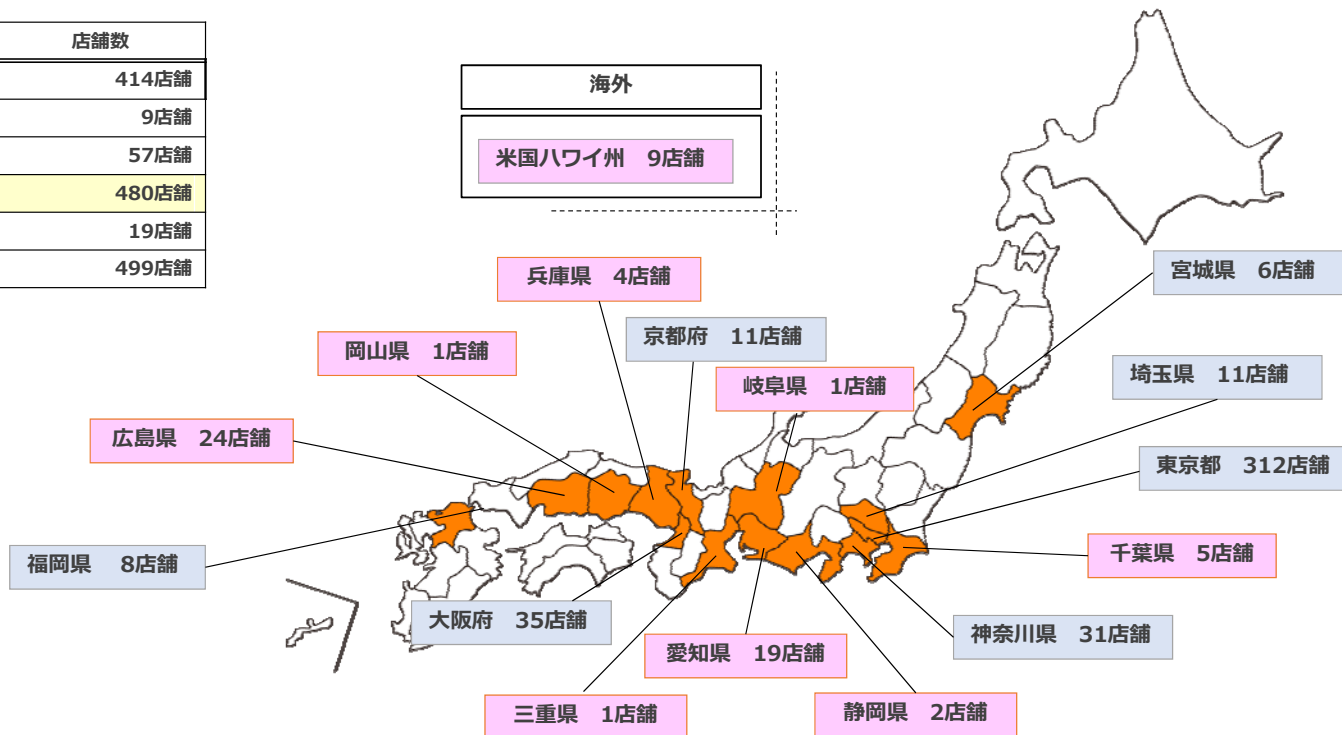
【グループ全社店舗数】

属性	店舗数
飲食（国内）	414店舗
飲食（海外）	9店舗
アミューズメント（国内）	57店舗
直営店舗 合計	480店舗
ライセンス+運営受託店舗	19店舗
全店舗 合計	499店舗

※2020年5月末日現在

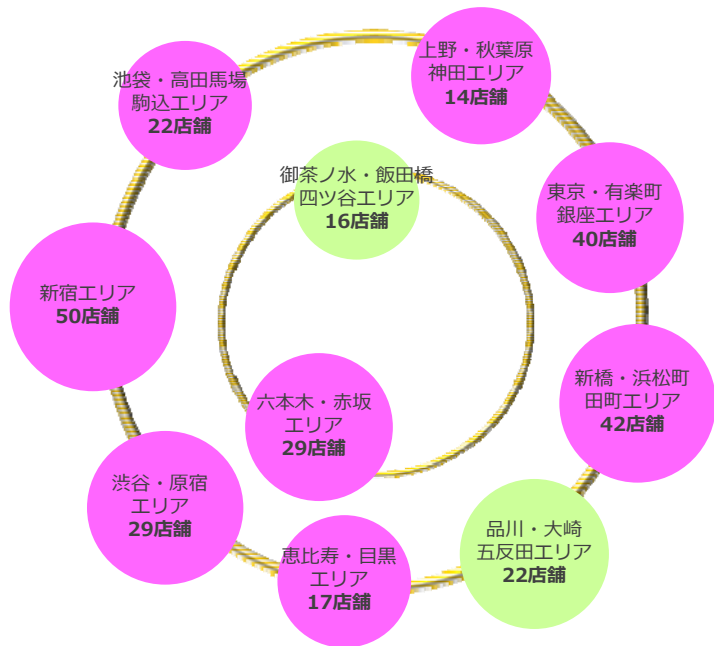
【凡例】

	…飲食店舗のみ
	…飲食店舗及びアミューズメント店舗出店



山手線沿線出店状況 -ドミナント戦略-

山手線沿線出店状況(2020年5月末現在)



山手線沿線内出店数 281店舗

グループ全社直営店舗数※ 471店舗

直営店舗に占める割合 59.7%

【凡例】 ● …飲食店舗とアミューズメント店舗がドミナント ● …飲食店舗のみ

ブランドロゴ

新規ブランド



【YOKKAICHI HARBOR 尾上別荘】

男のオムライス



【EGG BOMB 新橋店】

既存ブランド

高知餃子
博多かわ串
フタマタ

【博多かわ串・高知餃子 酒場フタマタ】

詳細・イメージ

株式会社ゼットンが株式会社エルフラットより
事業譲受をした三重県のウェディング施設



お好みのボリュームと多種のトッピングを
カスタマイズすることができる
デリバリーやテイクアウトにも対応した
オムライス専門店



「博多」と「高知」を股(マ)にかけ「かわ串」と
「高知餃子」の二つの名物を味わえる
ハイブリッド酒場



湘南レーベル(株)等のM&Aによる取得により、前事業年度から「不動産サービス事業」セグメントを追加

セグメント	展開方針
飲食事業	<p data-bbox="336 393 455 424">国内飲食</p> <p data-bbox="609 341 1741 486">全国主要都市を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。今期においては従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。 2020年5月末時点で国内414店舗を展開。 セグメント内には、ウェディング事業、FC・LC事業、ベンチャーキャピタル事業、(株)ゼットン海外事業等を含む。</p>
	<p data-bbox="336 574 455 606">海外飲食</p> <p data-bbox="609 533 1741 663">全店舗ハワイにて展開。全店黒字化に向けて業態ブラッシュアップや業態変更を目論む。 主な業態として「Shokudo」「Buho」等のワイキキのローカルにも支持させる業態3店舗を展開。 国内飲食に含まれるZETTON, INC.では「HEAVENLY」「GOOFY Cafe&Dine」「ZIGU」「PARIS.HAWAII」等6店舗を展開。</p>
<p data-bbox="182 735 473 766">アミューズメント事業</p>	<p data-bbox="609 704 1741 802">「BAGUS」ブランドにて高級感のあるビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業、「KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU」の運営に加え、2018年よりカプセルホテル事業に参入。厳選した立地にのみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。2020年5月末時点で国内57店舗を展開。</p>
<p data-bbox="191 885 464 916">不動産サービス事業</p>	<p data-bbox="609 854 1741 947">「湘南を世界のSHONANへ」というスローガンのもと、湘南の感度の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力。神奈川県においてホテル運営事業4棟の他、飲食事業、貸コンテナ事業、賃貸事業、戸建て不動産販売事業、「SIMPLE HOUSE」などの貸別荘事業等、複数の事業を展開。</p>

会社概要



株式会社商業藝術
【chano-ma 中目黒】

会社概要 (2020年5月末日現在)



- ◆ 商号 株式会社DDホールディングス
- ◆ 上場市場 東京証券取引所 市場第一部
- ◆ 証券コード 3073
- ◆ 本社所在地 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル18F
- ◆ 設立 1996年3月(平成8年)
- ◆ 資本金 6億9,938万円
- ◆ 発行済株式数 15,642,720株 (注) 2020年5月末日現在
- ◆ 決算 2月末日
- ◆ 代表者名 松村 厚久
- ◆ 従業員数 連結 9,581名 (正社員 1,971名・パートナー (平均) 7,610名) ※2020年2月末日現在
- ◆ グループ会社
 - ・連結子会社数 : 24社
 - ・非連結子会社数 : 1社
- ◆ 監査法人 太陽有限責任監査法人
- ◆ 事業内容 飲食事業(居酒屋・レストラン等)、海外飲食事業
アミューズメント事業(ビリヤード・ダーツ・複合カフェ等)、ウェディング事業、カプセルホテル事業
不動産サービス事業(ホテル運営事業、貸コンテナ事業、貸別荘事業等)

経営
理念

“ 世界に誇る「オープンイノベーション企業」を目指す ”

行動
指針

Dynamic & Dramatic

大胆かつ劇的に行動する

3
つ
の
指
針

異業種、異分野が持つ技術や知識を組み合わせ革新的なビジネスモデルを構築します。

グループ各社の理念・個性を尊重し相互補完と相乗効果で企業価値を最大化します。

世界に誇る「オープンイノベーション企業」を目指すため、ダイナミック&ドラマティック大胆かつ劇的に行動します。

グループ会社紹介



「ひとから愛される外食文化を創造し、広く社会に貢献します。」
を企業理念に掲げ、「VAMPIRE CAFE」や「わらやき屋」等、
個性的な人気ブランドを展開。食事をお楽しみいただくこと以外にも
新鮮な感動やサプライズを演出する「非日常空間」を提供。
関東圏（山手線沿線）、中部圏、関西圏など幅広いエリアに
2020年5月末現在121店舗を展開。



VAMPIRE CAFE（東京）



わらやき屋（東京）



美食米門（東京）

2013年に連結子会社（100%）として設立した(株)ゴールデンマジック。
「食で笑う」を企業理念に掲げ、生産者様の想いを大切にし、
一人でも多くのお客様に愛される店舗創りを追求。
居抜き物件に特化し主力ブランド「九州 熱中屋」等の高収益業態
の店舗を、関東圏、関西圏に2020年5月末現在92店舗を展開。

GOLDEN MAGIC



九州 熱中屋（東京）



酒場フタマタ（東京）



五島人（東京）

BAGUS

2011年6月に連結子会社（100%）となった(株)バグース。
 全ての事業展開に一貫するのはホスピタリティ精神とクオリティの
 高いサービスの提供です。エンターテイメント空間のパイオニアとして、
 お客様に「最高」の感動を追求。

ビリヤードを始め、ダーツ、シュミレーションゴルフ、
 インターネットカフェ、カラオケ、カプセルホテル、セルフエステ等、
 幅広い層に向け多様な事業を展開し、
 2020年5月末現在57店舗を展開。



BAGUS 上野店（東京）



THE PUBLIC SIX（東京）



GLANSIT KYOTO KAWARAMACHI
 （京都）

THE SAILING

TO THE WORLD
YOU'VE NEVER SEEN

2015年に連結子会社（100%）として設立した(株)The Sailingは、グループ初となるウェディング事業に特化する連結子会社であります。京都東山エリア八坂の塔に面する日本料亭とその料亭がプロデュースするウェディング総合施設「京都幽玄」を運営。お客様に寄り添い「O. K I. M O. C H I」を大事に、本格的なウェディングを手掛ける。2019年1月には心齋橋に2施設目となる「NOVEL」ブランドを運営。



京都祝言（京都）



京都幽玄（京都）



NOVEL SHINSAIBASHI（大阪）

zetton
inc.

1995年創業の(株)ゼットン。

「店づくりは、人づくり」「店づくりは、街づくり」の企業理念のもと、
「地域社会に貢献するホスピタリティ企業」として魅力あるコンテンツが
“街”をつくるという思想にて、アロハテーブル事業、ダイニング事業、
アウトドア事業、ブライダル事業、インターナショナル事業を運営。
愛知県を始め、関東圏、中部圏、関西圏、海外（ハワイ）等の幅広いエリアに
2020年5月末現在74店舗（直営68店舗）を展開。



ALOHA TABLE nakameguro



orange (オレンジ)



GARDEN RESTAURANT
TOKUGAWAEN

株式会社 商業藝術

1993年創業の(株)商業藝術は、
「あなたを上映する/Make a Cinema Day」をスローガンのもと、
広々とした小上がり席でおくつろぎ頂けるカフェ「chano-ma」
京都おばんざいをメインにした和食店「茶茶」
開放的な海沿いのゲストハウスウェディングの「CASA FELIZ」等、
広島県を始め、関東圏、中部圏、関西圏、福岡県など幅広いエリア
に2020年5月末現在86店舗を展開。



chano-ma (中目黒)



eight (広島)



CASA FELIZ (広島)

2019年3月1日に合意書の締結により連結子会社（持株比率41.2%）となった(株)エスエルディー。

「To Entertainment People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「kawara CAFE&DINING」業態をはじめとする飲食店舗の運営、「Collabo_Index」業態における他社保有IPコンテンツ（アニメ、ゲーム、漫画、音楽等の創作物）を活用した期間限定コラボレーションイベントの実施、店舗プロデュースや運営受託（「ポケモンカフェ」等）、イベントの企画・運営を展開。2020年5月末現在47店舗を運営。



kawara CAFE&DINING（宇田川店）



自社主催野外音楽フェス「夏びらき」



© 2019 Pokémon. © 1995-2019 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.
ポケモンマスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・ブーズ・ゲーム・フランクの登録商標です。

「ポケモンカフェ」

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

グループ経営企画本部 IR部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : ir@dd-holdings.com



DD HOLDINGS

Dynamic & Dramatic

大胆かつ劇的に行動する